

氏名	中 村 善 一
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	甲 第 507 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和56年3月31日
学 位 授 与 の 要 件	医学研究科内科系内科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学 位 論 文 題 目	全身性エリマトーデスの免疫異常とその成因に関する研究 第1編：抗リンパ球抗体に関する研究 第2編：サプレッサーT細胞機能に関する研究
論 文 審 査 委 員	教授 長島秀夫 教授 木村郁郎 教授 野原 望

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

全身性エリマトーデス(SLE)の免疫異常とその成因に関し研究した。

第1編：SLE患者血清中の抗リンパ球抗体(ALA)を cytotoxicity test にて測定し、臨床経過や血清学的所見との関連を検討した。その結果、ALAは膠原病およびその近縁疾患に幅広く検出されたが、SLEでは全体で87.5%、特に急性期では100%と高率に検出され、かつ力価も他疾患に比べて非常に高値を示した。また、SLEのALA力価は、抗核抗体が shaggy または diffuse pattern を呈する群および血清 γ -GI. 高値群に有意に高値を示し、かつ抗一本鎖DNA抗体価と正の相関、血清補体価との負の相関が認められ、疾患活動性と並行して変動が認められた。また、急性期SLEの血清中には抗T細胞抗体が高率に検出された。以上の結果より、ALAが suppressor 機能に影響を与えSLEの免疫異常に関与しているとも考えられるが、反面、これら自己抗体の産生がB細胞の異常に由来する可能性が示唆された。

第2編：SLE患者の末梢単核球を concanavalin A (Con A) 添加あるいは非添加で48時間培養することにより、正常同種末梢単核球による pokeweed mitogen (PWM) 刺激免疫グロブリン(Ig)産生を抑制する、Con A-induced suppressor 細胞および preculture-induced suppressor 細胞を正常ヒトと同様に誘導することができた。さらに、SLEに出現する抗T細胞抗体が、Con A-induced suppressor 細胞の前駆細胞を撰択的に障害する事実は証明されず、この抗体が原因となってSLEの suppressor 機能が低下しているとは考えられなかった。しかしながら、SLE患者のこの両 suppressor 細胞は、正常ヒトB細胞機能を抑制したが、自己のB細胞に対しては十分に抑制効果を示

さないことが判明した。以上の結果より，SLEの抗体産生異常は，suppressor 細胞の機能低下によるものではなく，むしろその情報を受けるB細胞の欠陥によることが証明された。

論文審査の結果の要旨

本研究は全身性エリテマトーデス（SLE）の免疫異常とその成因につき研究した。SLE患者血清中の抗リンパ球抗体（ALA）の cytotoxicity test からALAが suppressor 機能に影響を与え，SLEの免疫異常に関与していることおよび自己抗体の産生がB細胞の異常に由来すること等の可能性を示した。さらに，suppressor T 細胞機能の検討からSLEの抗体産生異常はB細胞の側の欠陥であることを明らかにした。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。